

事実誤認されるようなSNSの書き込みに対して強く抗議する決議

昨年の12月議会において、平成29年度より石部中学校の給食を自校方式からセンター方式に移行するという内容の補正予算が提案されたが、予算常任委員会において、保護者や学校関係者に十分な説明がなされていないという理由により、委員から修正動議が提出された。

その趣旨について、慎重な審査の後、全委員が賛成となり本会議においても全議員が予算常任委員長の修正理由の報告について賛意を示し、全会一致で可決したものである。

そのような経緯のもと、予算修正の理由について、本会議において予算常任委員長から十分な説明をしているにもかかわらず、市長は修正議決に対して、「十分な理由も伝えられなかった」、「自らが発言できる場がなかった」など、まさに議会が一方向的に議決したかのような、虚偽の内容を「公」にする目的でSNSに書き込み発信する行為は、市民に誤解を与え、市長という公人の立場で到底許されるべきものではない。

以上の理由により、湖南省議会は、公人としての立場を逸脱した発信やSNSでの市民に誤解を与える書き込みについて強く抗議するとともに、今後は市長として発する言葉の重みについて、しっかりと自覚されるよう強く求めるものである。

以上、決議する。

平成29年3月24日

湖南省議会